



昭和45年
開校

みどりの子 明るく やさしく 根気よく

緑が丘だより

第6号

令和元年12月発行
宇都宮市立緑が丘小学校
校長 影山 晃一

地域とともにある学校づくり

◇ 土曜授業（12月7日）

学校週5日制での土曜日、子供の生活の場は家庭、地域です。その日に、地域の施設である学校を開放し、児童が家の人や地域の方と交流し、多様な体験をすることにより、興味や関心を広げたり、地域への理解や愛着を深めたりすることができます。

本校では、このような土曜授業の趣旨を踏まえ、実施しました。

テーマ：思いを伝える

《第1部：感謝の会（児童から地域の方へ）》

本年度から、学校ボランティアの窓口を地域協議会に一本化し、全ボランティアを招待しました。当日は、36人がご出席くださり、児童から、安全や授業支援、読み聞かせ、環境整備などにご尽力いただいていることへの感謝の思いを伝えました。

会においては、その思いを広く地域へも伝えるため、あいさつをする、家の周りをきれいにする、困っている小さな子の手助けをするなどして、学校から感謝の気持ちを広げましょう、と話しました。

《第2部：音楽発表会（児童から保護者、地域の方へ）》

音楽の学習で学んだ合奏曲や合唱曲から、全体へ発表したい曲を選び、音楽表現の楽しみを味わうとともに、来校者が心豊かなひと時を過ごせるようにしました。

各学年からの思い、～世界、生命、友情、感謝～などを音に乗せ、伝えました。



《第3部：表彰式（PTA、地域協議会から児童へ）》

関係団体が主催する事業に作品を応募し、入賞した児童を表彰していただく機会を設けました。表彰内容は、みどり祭キャラクター、50周年シンボルマーク、あいさつ標語です。



このように、保護者や地域の方が、児童の発表などを見ることにより、学校の取組への理解を深めることができます。また、児童が、自分の役割を果たす姿を多くの人に見ていただくことで、認められている、また挑戦したいという気持ちを高めることができます。

ご参加くださいました皆様に、感謝いたします。

◇ グリーンボランティアによる環境づくり（11月～12月）

学校敷地内にある桜やけやきの木は、10月頃から紅葉し、落ち始めます。また、花の苗の植え替えの時期です。そこで、保護者や地域の方からボランティアを募り、環境づくりへの協力をお願いしました。児童と共に、落ち葉を集めきれいにしていただいたり、花壇や鉢の苗植えをしていただいたりしました。作業しながらあたたかな交流ができ、今後、地域で会ったときなど、あいさつを交わせるようになることを期待しています。



学校づくりへの取組

合言葉：明るく やさしく 根気よく

◇ あいさつ運動強化週間（12月16日～1月10日）

第3回の運動です。冬休み明け、児童のあいさつの声が小さくなることから、年を越えて11日間実施します。地域協議会からご参加いただくとともに、12月18日には、陽南中学校の生徒も参加し、地域ぐるみであいさつの輪を広げました。ご協力をお願いいたします。



お知らせ

◇ プール塗装工事が終了しました

プールの老朽化により、水槽の壁の塗装が落ち、コンクリート部分に藻が張る状況がありました。この度、地域協議会委員のご尽力により、市の修繕工事の対象となりました。壁の表面が整うことで藻が張りにくくなり、これまで以上に水の衛生を保てます。次年度の水泳の授業が楽しみです。

